

コウ/トリ文化館便い

コウ/トリ文化館のホームページで
リアルタイムの情報を発信しています

<https://Kounotoribunkakan.com>
<https://www.facebook.com/kounotoribunkakan/>
https://www.instagram.com/toyooka_stork_museum/

10月のコウ/トリ



幼鳥は親元を離れ、各地に飛来する時期です。羽数が増えているので、今まで見られなかった箇所でも見られる可能性があります。親鳥は子育てが終わり一段落、ペアでのんびりしている様子が時折見られます。

10月の郷公園



秋になると、文化館北側の梢からモズの「キー、キー。」という高鳴きが聞こえるようになります。厳しい冬に備え山から里に下りてきて、縄張りを持つために鳴きます。

今月の生きもの



ウラギンヒョウモン 最も代表的な草原のヒョウモンチョウ。神鍋高原などで普通に見られます。

ヒョウモンチョウの仲間

明るい褐色地に黒の斑点がある中型のチョウの仲間です。初夏に現れて、暑い夏は一時お休み。秋になるとまた姿を現します。山地の草原や林縁、民家の庭のコスモスなどにもやってきます。たくさんの種類がありますが、シカの影響か見られる種類が限られてきました。幼虫の食草はスミレ類です。



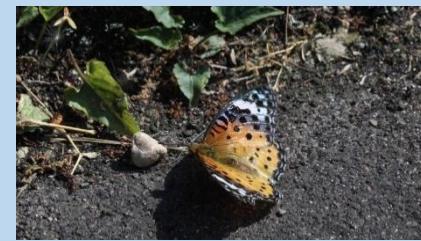
オオウラギンスジヒョウモン 林縁や谷間で見られるヒョウモンチョウ。翅の裏はスジ模様。



ミドリヒョウモン 山地から庭先まで幅広く見られます。翅の裏は薄緑色。



ツマグロヒョウモン(オス) 暖かい地方のヒョウモンチョウ。近年個体数が増えています。後羽の端が黒い。



ツマグロヒョウモン(メス) メスは前翅の先が幅広く黒く別種のよう。



ツマグロヒョウモン(幼虫) 幼虫はパンジー、ビオラなどの園芸品種でもよく育ちます。

10月の行事

10月5日(日)

キノコ・粘菌観察会

キノコの森を訪ねる

時間：13時00分～

参加費：無料

※要事前申込

10月12日(日)

コウノトリ野鳥

観察会

時間：13時00分～

参加費：無料

※要事前申込

10月19日(日)

田んぼの学校

アカトンボ探し

時間：9時30分～

参加費：子ども100円

当日参加可能

10月26日(日)

植物観察会

時間：13時00分～

参加費：無料

*道の駅神鍋高原駐車場に集合

※要事前申込

10月18～19日(土・日)

コウノトリ感謝祭

場所：コウノトリの郷公園

コウノトリ文化館

時間：9時00分～15時00分

内容：18日 駐車場マルシェ

フラダンス披露

18、19日 ぬり絵缶バッジづくり

など



10月19日(日)

放鳥20周年記念トークセッション

コウノトリ野生復帰の巻点と未来

～私たちは何を目指してきたのか～

場所：コウノトリ文化館

多目的ホール

時間：14時00分～

参加費：無料



原点と未来

コウノトリ野生復帰の
20周年記念トークセッション

9月のトピックス

キノコ・粘菌観察会 9/7

参加者：17名 スタッフ：2名



ようやくまともな雨が降るようになり、キノコや粘菌の発生が期待できるようになりました。オレンジ色のビョウタケや美しいツヤエリホコリなど、20種類以上のキノコ・粘菌を見ることができました。

ゲンゴロウ調査 9/14

参加者：9名 スタッフ：2名



文化館裏ビオトープと、園外に出て半坂池で観察をしました。シマゲンゴロウやマルガタゲンゴロウ、大きさ5ミリ以下の微小ゲンゴロウ類も観察しました。

企画展「松島さんとコウノトリ」

～絶滅と復活の物語～

9/17～10/30



コウノトリとともに歩んだ松島さんの半生を、紙芝居にしました。コウノトリの捕獲に使用した当時の機材なども展示しています。

田んぼの学校 9/21

参加者：30名 スタッフ：5名

今日の「田んぼの学校」はバッタ・イナゴ探しでした。バッタの他、カマキリからハリガネムシが出てくるのを見たり、スタッフが捕まえたシマヘビを触ったり、盛り沢山の内容でした。



豊岡市立コウノトリ文化館 (指定管理:NP0法人コウノトリ市民研究所)

開館時間／9:00～17:00 休館日／月曜日(祝日にあたるときはその翌日) 入館無料(環境協力金100円・任意)

〒668-0814 豊岡市祥雲寺127番地 TEL:0796-23-7750 FAX:0796-23-8005 <https://kounotoribunkakan.com>

コウノトリ文化館は兵庫県立コウノトリの郷公園内にある、豊岡市立の見学施設です。